

(令和5年5月31日発表)

プラスチックごみのリサイクル実現可能性調査を実施

| | |
|-----------|--|
| ◆アピールポイント | 現在燃えるごみに分類している「 <u>家庭から発生するプラスチックごみ</u> 」について、 <u>分別収集・リサイクルの実現可能性を調査するため、事業者へのヒアリング調査（サウンディング調査）を実施します。</u> |
| ◆日時・期間 | 令和5年5月31日（水）から6月23日（金）まで参加受付 結果公表 令和5年8月予定 |
| ◆内容など | <p>本市はこれまで、家庭から排出されるプラスチックごみについて、その性質（比重、排出の状況）や再資源化技術、近隣の処理施設の立地状況などを鑑み、環境面、経済面、社会面を総合的に勘案し、ペットボトル以外のプラスチックごみは分別回収を行わず、本市清掃工場において焼却・熔融処理を行ってきました。</p> <p>その一方で、地球温暖化・カーボンニュートラルへの対応が世界的な喫緊の課題となっており、令和4年4月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されるなど、プラスチックの資源循環に関する取組が加速していることから、本市においても一般廃棄物処理のあり方について再考する時期を迎えているといえます。</p> <p>そのため、本市におけるプラスチックリサイクルの実施に意欲のある民間事業者の皆さんの御意見を伺い、<u>ペットボトルを除く容器包装プラスチック及び製品プラスチックの一括回収・再資源化の実現可能性について把握するため、サウンディング調査を実施いたします。</u></p> <p>調査の詳細は下記ホームページの実施要領を御覧ください。 https://www.city.shizuoka.lg.jp/790_000290.html</p> |
| ◆調査対象 | 本市におけるプラスチックリサイクルの実施に意欲のある民間事業者 |

別紙資料 有 ・ 無

【問合せ】 ごみ減量推進課（静岡庁舎新館 13 階）

担当 田村、萩原

電話 054-221-1075